

事業概要 【高齢者自立支援介護に向けた認定調査デジタル化事業】

| | | | | | |
|------|--------|----|---------|-----|----------|
| 自治体名 | 大阪府阪南市 | 人口 | 50,825人 | 事業費 | 13,233千円 |
|------|--------|----|---------|-----|----------|

事業概要

本市は、高齢化率が34%を超え、府内市町村で6番目の高齢化が進むまちとなっている。要介護認定の申請者が年々増加しているため、適切で迅速な介護サービスの利用に繋げることが喫緊の課題となっている。

しかしながら、要介護認定までに要する日数が長期化してきているため、高齢者を取り巻く居宅介護支援事業者などがスムーズに介護サービスが提供できるよう、要介護認定調査のDX化を推進することによって、要介護認定を迅速に行うことを目的とし、要介護認定調査に支援システム（タブレット）を導入するもの。

また併せて、業務のデジタル化により、調査員の事務作業の効率化や調査票の標準化が期待でき、市域における課題解決とともに、業務効率化にも取り組むものとする。

【調査員支援システム】

- ・タブレット端末による調査表作成支援サービス
- ・選択項目等のAIチェック機能
- ・特記事項のテンプレート活用による効率化
- ・入力データのアップロードによる調査票作成
- ・スケジュール管理機能
- ・画面転送型アプリによるセキュリティ向上

具体サービス

※これらの取組によって、認定調査時間を縮減し、高齢者負担を減少させることで、市民サービスの向上を図る。

※標準化した調査票を作成し、調査員の感覚によらない公正公平な調査票を審査会に諮ることができるようになる。

※システム化することにより、今後の介護予防や給付見込みシミュレーションなどが可能となることで、市民の健康寿命の延伸と適正な介護保険運営が可能。



調査員支援システム



主な KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

① 調査員支援システムを活用した調査票作成件数

【アウトカム指標（成果指標）】

① 申請から認定に要する日数

② 要介護認定者における重度者の割合

事業概要 【GIGAスクール推進事業】

| | | | | | |
|------|--------|----|---------|-----|---------|
| 自治体名 | 大阪府阪南市 | 人口 | 50,825人 | 事業費 | 6,881千円 |
|------|--------|----|---------|-----|---------|

事業概要
 阪南市のGIGAスクールビジョンのもと、一人一台端末を利用した、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、児童生徒の学力の向上を図る。また、自ら課題を発見し、課題を解決するための発信する力、比較検討する力、考えを深める力などを養うためのICT関連の環境を整える。

具体サービス

学習支援アプリでできること（児童生徒）

- ・思考の可視化、比較
- ・プレゼン資料作成の簡易さ
- ・シンキングツールの使いやすさ
- ・簡易な協同学習・動画の活用・編集
- ・簡易なネット上資料とのリンク
- ・資料の配布、提出時間短縮
- ・他者の思考をデータで取り込むこと

学習支援アプリ（教員）

- ・教員に対する研修と研修資料の共有
- ・質問箱対応
- ・資料作成時間の短縮
- ・先進的な活用実践のある小中学校全学年全教科の授業案のデータの活用が可能また、授業案のデータを取り出し、必要なものだけ活用することもできる。

阪南GIGAスクールビジョン

これまでの教育実践の蓄積

×

ICTの活用

→

「阪南GIGAスクールビジョン」4つのキーワード
 ①授業改革 ②新しい学習活動
 ③家庭学習の充実 ④教員の働き方改革

教員研修(ICT活用・実技)

学習支援アプリ

生徒が主体的に学び合う双方向授業

思考力・判断力・表現力の育成、業務負担の軽減

思考力・判断力・表現力の育成

つなげてプレゼン

- カードの中にカードを入れて組み合わせる
- カードをつなげてプレゼンテーション資料作成

学習履歴の蓄積

- 授業データのすべてを蓄積
- カードを整理して学びを振り返る
- 学習意欲を引き出す

シンキングツール（思考ツール）

- 思考の流れを可視化
- アイディアの発散・収束
- 新しい考えをつくり出す

協働学習

- 生徒同士のファイル交換
- 複数人でデータを共有
- 一つのノートを複数人で共同編集 (2022年リリース予定)

| | | |
|-------|--|--|
| 主なKPI | 【アウトプット指標（活動指標）】 | 【アウトカム指標（成果指標）】 |
| | 小学校全体学習支援アプリの一日当たりの利用率 中学校全体学習支援アプリの一日当たりの利用率 | 小学生アンケートでの肯定的回答の割合 中学生アンケートでの肯定的回答の割合 |

事業概要 【はんなんプログラミング教育推進事業】

| | | | | | |
|------|--------|----|---------|-----|---------|
| 自治体名 | 大阪府阪南市 | 人口 | 50,825人 | 事業費 | 1,986千円 |
|------|--------|----|---------|-----|---------|

事業概要
 阪南市のプログラミング教育の問題を解決するため「プログラミング教育の楽しさを体験できるような低学年からの段階的な指導計画」にそったプログラミング教材を市で一括購入し、一定期間巡回や貸し出しするとともに、使用方法・指導方法等も含め巡回指導または公民館講座として行うことにより、プログラミング教育の一層の推進を図り、子どもたちがデジタル機器を一層身近なものと感じ、デジタル社会を担う人材育成を図ることもできるものである。

【はんなんプログラミング教育の推進】
小学校(生)向け
 ・アンプラグドプログラミング教材、ロボット教材を使用した巡回指導(研修・出張公民館)を行う。

中学校(生)向け
 ・ドローンプログラミング教材を使用した巡回指(研修)を行う。

はんなんプログラミング教育推進事業

段階的な指導に適したプログラミング教材の一括購入



アンプラグド教材



ロボット教材



ドローン教材

巡回指導



教員研修



小学校向け巡回指導



中学校向け巡回指導

主な KPI
【アウトプット指標（活動指標）】
 ①小学校(生)向け巡回指導及び貸出回数
 ②中学校(生)向け巡回指導及び貸出回数

【アウトカム指標（成果指標）】
 ①受講者の満足度
 ②論理的思考力の問題の正答の上昇率